

JFA バーモントカップ

第32回全日本U-12フットサル選手権大会 栃木県大会要項（案）

1. 名 称

JFA バーモントカップ第32回全日本U-12フットサル選手権大会 栃木県大会

2. 主 催

(公益社団法人)栃木県サッカー協会

3. 後 援

朝日新聞社、スポーツ庁（予定）

4. 主 管

(公益社団法人)栃木県サッカー協会フットサル委員会

5. 特別協賛

ハウス食品グループ本社株式会社

6. 協 力

株式会社モルテン 栃木県フットサル連盟 栃木県少年サッカー連盟

7. 日 程

<開催日> 7月2日（土）7月3日（日）

<会 場> 那須町スポーツセンター

8. 参加資格

(1) フットサルチームの場合

① 公益財団法人日本サッカー協会（以下、「日本協会」とする。）に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独チームであること（準加盟チームを含む）。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。

② 前項のチームに所属する2010年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。

③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。

(2) サッカーチームの場合

① 日本協会に「4種」の種別で加盟登録した単独チームであること（準加盟チームを含む）。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。

② 前項のチームに所属する2010年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。

③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。ただし、準加盟チームはこの限りでない。

(3) 地区大会を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。

(4) 選手及び役員（監督・コーチ等）及び審判員は、本大会に1チームにのみ登録することができ、他の都道府県の同大会を含め、複数のチームで参加できない。

(5) チーム代表者は20歳以上で当該チームを指導掌握し、責任を負うことのできる者であること。但し、複数のチームの代表者を兼ねることはできない。

(6) 1チームあたり3～20名とし、過半数が県内在住または在勤・在学者により構成されたチー

ムであること。

(7) 登録選手は傷害保険（スポーツ安全保険等）に加入していること。

(8) チームに本県のフットサル審判資格を取得しているものが2名以上いること。

帯同審判はユニフォームチェック時に、審判証を提示のこと。

9. 参加チームと各地区割当て数 ← 2021年度は12チームで開催

地区	北那須	塩/南那	宇河	上都賀	芳賀	下都賀	両毛	計
チーム数	2	2	5	2	1	4	2	18

参加チームは、次の各号により地区予選から選出された18チームとする。

- (1) 今年度7地区予選優勝チーム 7チーム
- (2) 前年度大会優勝の地区から 1チーム（前年度優勝地区 宇河）
- (3) 前年度地区予選参加チーム数の多い地区から 10チーム（ドント方式による）
但し、同数の場合は、前年度の成績上位地区に割り当てる（前年度準優勝地区 下都賀）
<地区割当て数（前年度の各地区予選参加チーム数）>
北那須地区（8） 塩谷・南那須地区（8） 宇河地区（17）
上都賀地区（5） 芳賀地区（3） 下都賀地区（10） 両毛地区（8）

10. 大会形式 原則として以下の通りとする。

- (1) 1次ラウンド：18チームを3チームずつ6グループに分けてリーグ戦を行い、各グループ1位の6チームに加え、グループ2位の中で成績上位の2チームが決勝ラウンドへ進出する。

但し、各地区優勝チームは同一グループに3チームは入らないこととする。

順位はグループ内の勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち3、引き分け1、負け0とする。不戦勝は3-0とする。

但し、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

- ① 当該チーム内の対戦成績
- ② 当該チーム内の得失点差
- ③ 当該チーム内の総得点数
- ④ グループ内の総得失点差
- ⑤ グループ内の総得点数
- ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
 - (ア) 警告1回 1ポイント
 - (イ) 警告2回による退場1回 3ポイント
 - (ウ) 退場1回 3ポイント
 - (エ) 警告1回に続く退場1回 4ポイント

⑦ 抽選

各グループ2位の中で成績上位2チームは、各グループにおける勝点合計の多いチームを上位とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

- 1) 各グループにおける総得失点差
- 2) 各グループにおける総得点数
- 3) 抽選

- (2) 決勝ラウンド：8チームによる ノックアウト方式で行う。3位決定戦は行わない。

11. 競技規則

大会実施年度の『フットサル競技規則』による。

2020/21 フットサル競技規則改正に伴う規則解釈および適用の変更について（2020.8.25）

9. 15歳以下の競技会におけるゴールキーパー等

15歳（第3種）以下のフットサル競技会については、それぞれ財団法人日本サッカー協会発信の、「2003年6月6日、第3種以下の競技会におけるフットサル競技規則の適用について」、「2003年7月15日、第3種以下の競技会におけるフットサル競技規則の適用について（補足）」および「2005年2月17日、第3種以下の競技会におけるフットサル競技規則の適用について（その2）」に基づき、引き続き次のとおり、適用する。

(1) 第8条 プレーの開始および再開

- ・ キックオフから直接得点することはできない。

(2) 第12条 ファウルと不正行為、第16条 ゴールクリアランス

- ・ ゴールキーパーが投げた、またけたボールが直接ハーフウェーラインを超えた場合、間接フリーキックが相手に与えられ、間接フリーキックはボールがハーフウェーラインを超えた場所から行われる。

12. 競技会規定

以下の項目については、本大会の規定を定める。

(1) ピッチ：

- ① 大きさ：原則として、32m×16mとする。（但し、使用会場による）

センターサークルの半径：2.5m

ペナルティエリアの四分円の半径：5m

ペナルティマーク：5m

第2ペナルティマーク：8m

交代ゾーンの長さ：4m

タイムキーパーの机の前のエリア：ハーフウェーラインの両端から4m

- ② 守備側競技者のボール等から離れる距離

フリーキック：4m

コーナーキック：4m

キックイン：4m

- (2) ボール：試合球：日本協会公認の3号球

- (3) 競技者の数：選手登録の20名うち

競技者の数 5名

交代要員の数 5名以内

ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：3名以内。準加盟チームについては、その限りとならない。

- (4) チーム役員の数：3名以内（但し、通訳が登録されている場合は4名以内）

- (5) 競技者の用具

① ユニフォーム

- (ア) 本協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

- (イ) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正・副2着のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を参加申込書に記載し、各試合には必ず携帯すること。（各地区予選についてはこの限りではない。）
- (ウ) チームユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
- (エ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩及び同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
但し、ケガや退場処分等の突発的な諸事情により、交代要員のゴールキーパーが不在でかつ準備が整っていない場合に限り、主審の判断により、ゴールキーパーのユニフォームを前述以外のユニフォーム等で代用することができる。
- (オ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- (カ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- (キ) ユニフォームへの広告表示については、日本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示に生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
- (ク) 正・副の2色については明確に異なる色とする。
- (ケ) 主審は、対戦するチームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チーム立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- (コ) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- (サ) ソックスにテープまたはその他の材質のものを、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
- (シ) アンダーシャツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。GKは除く。
- (ス) アンダーショーツ及びタイツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。GKは除く。
- (セ) 膝および腕のプロテクターを着用する場合、シャツの袖の主たる色と（腕のプロテクター）、ショーツまたはトラックスーツのパンツの主たる色（膝のプロテクター）と同じ色でなければならない。過度に大きなものであってはならない。
色が合わせられない場合、シャツの袖やショーツ（または、着用する場合はトラックスーツのパンツ）がどのような色であっても、黒または白のプロテクターを着用することができる。シャツの袖またはショーツ（または、トラックスーツのパンツ）と色が合わないプロテクターを着用する場合、そのプロテクターはすべて同じ色でなくてはならない。（黒か白で）
- ※ プロテクターの色組み合わせは競技者一人一人に適用され、各チームすべての競技者のプロテクターが同じ色、同じ組み合わせである必要はありません。

(イ) その他のユニフォームに関する事項については、日本協会のユニフォーム規定に則る。

② 靴：キャンバスまたは柔らかい皮革製で、靴底がゴムまたは類似の素材でできており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズまたは体育館用シューズタイプのみのものである。(靴底の接地面は凹凸がなく、ピッチ面を傷つけたり、着色するおそれのあるシューズは使用できない。)

③ ビブス：交代要員は競技者と異なる色のビブスを用意し、使用しなければならない。

(ユニフォームのシャツと異なる2色のビブスを準備・携行しなければならない。)

(6) 試合時間

① 1次ラウンド：16分間(各8分間からなる2つのピリオド)のランニングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは3分間(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで)とする。

※ 1次ラウンドについては参加チーム数により試合時間の変更あり。

② 決勝ラウンド：20分間(各10分間からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで)とする。

(7) 試合の勝者を決定する方法(試合時間内で勝敗が決しない場合)

① 1次ラウンド：引き分け

② 決勝ラウンド：PK方式(5人制)により勝敗を決定する。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

③ 決勝：6分間(各3分間からなる2つのピリオド)の延長戦を行い、決しない場合はPK方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは3分間とし、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

12. 懲 罰

(1) 本大会において退場を命じられた選手・役員は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。

(2) 本大会期間中の警告の累積が2回に及んだ選手・役員は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。

(3) 前項により出場停止処分を受けたとき、1次ラウンド終了時点で警告の累積が1回の時、または本大会の終了の時に、警告の累積は消滅する。

(4) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、関東大会を懲罰規定上の同一競技会とみなし、順次消化するものとする。関東大会に出場しない場合は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

(5) 参加資格に違反、その他不都合な行為があった場合は、規律・フェアプレー委員会に諮り、その選手及びチームの処分を決定する。

(6) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。委員長は県協会フットサル委員会委員長とする。

12. 参加申込み

(1) 1チームあたり23名(選手20名、役員3名 但し、通訳が登録されている場合は4名)を上限とする。

(2) 参加申込みは、JFAWEB登録システム「KICKOFF」により行う。

① 大会参加費納入報告書 振込み明細書のコピーを添付すること。

申込み締め切り日までに納入すること。

② ユニフォーム広告掲示（回答）の写し（但し、ユニフォームに広告等がある場合）

※ ① ② は、監督会議に持参・提出すること。

(3) 申込締切日：2022年6月15日（火）

(4) 前項の申込み締切日以降の参加申込み内容の変更は認めない。

14. 参加費

大会参加費： 20,000円

サッカー登録チームは、栃木県フットサル連盟チーム分担金として1,000円を加えて納入すること。（複数チーム参加の場合はまとめて納入すること。）

振込先口座：足利銀行 一条町支店 普通 3298034

公益社団法人栃木県サッカー協会（一般） 代表理事 星野 務

※ 必ず「チーム名」を明記して、申込み締め切り日までに振込のこと。

15. 代表者会議

(1) 日 時 2022年6月19日（日） 午後6時から

(2) 場 所 （公社）栃木県サッカー協会事務所 駐車場は別添参照

※代表者会議に無断欠席をした場合、不参加扱いとする。

16. 電子選手証

各チームの登録選手は、原則として日本協会発行の選手証（写真を添付により顔の認識できるもの）を持参しなければならない。

※選手証とは、日本協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。

17. 表彰

優勝、準優勝、第3位のチームを表彰する。

18. 代表資格

優勝チームは、栃木県代表して全国大会に出場する義務と権利を有する。

※ 全国大会 2022年8月5日（金）～7日（日）

東京：駒沢オリンピック公園体育館・屋内球技場

19. 傷害補償

チームの責任において傷害保険に加入していること。

20. 負傷対応

競技中の疾病、傷病等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。

21. その他

※ 新型コロナウイルス感染症に係る大会運営の基本方針：新型コロナウイルスの影響は不可抗力とする。

JFA「新型コロナウイルスの影響によるJFA国内競技会開催可否の判断基準について」を適用

- 県の対応や使用施設の利用規則等を順守する。施設の利用不可、使用者制限等に従う。
- チーム関係者の健康チェックシート及び当日入場する応援・観戦の保護者等を含めた全員を記入した利用者名簿を提出すること。
- チームに陽性者・濃厚接触者が発生した場合、参加辞退とし、不戦敗とする。

- まん延防止重点等措置が発令された場合、施設の利用が可の時は感染防止を徹底し開催
 - 緊急事態宣言が発令された場合、大会を中止。
 - 大会を開催できなかった場合は、参加費は返却する。
- ① 試合日程は栃木県協会フットサル委員会内で協議し決定する。
 - ② 参加チームは、栃木県協会フットサル委員会において特別な事情がある場合、日程等の変更に
応じなければならない。
 - ③ 大会要項に違反し、その他、不都合な行為のあった個人またはチームは出場を停止する。勝
ち点を剥奪する場合もある。
 - ④ マッチコーディネーションミーティング（ユニフォームチェック）は、前の試合の第2ピリ
オド開始時から行う。但し、第1試合については30分前とする。
15分以上遅刻の場合は、不戦敗（0-5）とする。
ユニフォーム（正・副）とビブス（2色）、メンバー表4部（チームで印刷）を持参すること。
メンバー表は、大会参加申込書のシートを使用すること。
 - ⑤ 競技中の疾病、傷病等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責は負わない。
 - ⑥ ピッチレベルでの水分等の補給は、指定した場所でのみ認める。ピッチ内は認めない。
 - ⑦ 本大会の試合に関する動画・写真等の権利は全て栃木県協会フットサル委員会に帰属する。
 - ⑧ ごみはすべて各チームで持ち帰ること。また喫煙は指定された場以外ではしないこと。土足
も厳禁とする。
 - ⑨ 指定された場所以外では、ボールを使っての練習は禁止する。
 - ⑩ 会場準備及び会場の片づけについては、大会事務局の指示に従い参加チームで行うこと。
 - ⑪ 県協会および大会関係者は、参加者の負傷、傷病、障害及び会場の備品破損に対しては一切
の責任を負わないものとする。（チームの責任で処理をすること。）
 - ⑫ 参加に要する経費は、すべて参加者負担とする。
 - ⑬ 本実施要項に記載のない事項については、フットサル委員会にて決定する。

19. 問い合わせ先

大会担当者 公益社団法人栃木県サッカー協会

フットサル委員会 大会担当 宮川 進

〒321-0932 宇都宮市平松本町770-40

Tel 090-3318-6844

E-mail futsal@tfa.or.jp

xxsqg509@yahoo.co.jp